

第8回西陣・千両ヶ辻文化検定試験（初級問題）

◇西陣・千両ヶ辻の概論について答えなさい。

- (1) 千両ヶ辻伝統文化祭は今年も、()に位置する薬師町・北之御門町・石薬師町の三町内を中心にその界隈で開催する。()に入れる最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。(ア)堀川通 (イ)智恵光院通 (ウ)大宮通今出川上ル (エ)大宮通今出川下ル
- (2) 地域を表す千両ヶ辻及び西陣の呼び名について最も適当なものを(ア)～(ウ)から選びなさい。(ア)現在は忘れられた呼び名になっている。(イ)現在この地域名は一般に使われているが、固有名詞は別として公式な住所標記には使われていない。(ウ)現在も公式な住所標記に使われている。

◇歴史及び謂われ等、千両ヶ辻について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

- (3) 西陣織の中心地として江戸時代から栄えて来た千両ヶ辻の地名の由来は何か。(ア)この地で一日千両に値する、主に生糸並びに織物を商ったことから。(イ)この地は両替商(金融業)中心の町であったから。(ウ)江戸時代この地を掘ると千両箱が出て来たから。
- (4) この地はいつの時代から一般に千両ヶ辻と呼ばれたか。(ア)江戸時代、元禄(1688～1703)の頃である。(イ)江戸時代中期以降、文化文政(1804～1829)の頃である。(ウ)江戸時代末期、嘉永安政から明治初期(1848～1875)の頃である。
- (5) 2017年は西陣と称されて550年、江戸時代より現代まで千両ヶ辻には()を中心に織物問屋並びに両替商(銀行)が営んでいる。(ア)織屋〔織物メーカー〕 (イ)糸染業 (ウ)生糸問屋 (エ)金糸屋〔金銀糸を扱う糸屋〕
- (6) 千両ヶ辻にある町家は京都の代表的な町家と同じく、うなぎの寝床と云われる間口が狭く奥行きが深い家が多い。この地域の町家の格子はどの様な種類が多いか。(ア)糸屋格子 (イ)茶屋格子 (ウ)米屋格子 (エ)炭屋格子
- (7) (8) 千両ヶ辻より南東へ約400mの地点に平安時代下級貴族の三善清行の葬列が一条大橋に差掛かった時、息子の浄蔵の祈りが通じ蘇生したことから一条戻り橋の名の起源とされている。諸説が存在する中、橋に拘わる事項を(ア)～(エ)から二つ選びなさい。(ア)秀吉時代朝鮮出兵の軍勢や大東亜戦争時、出征兵士は武運長久を祈って橋を渡った。(イ)安土桃山時代～江戸時代初期、戻り橋は現在の中立売橋であった。(ウ)現在もこの橋を渡ることを忌み嫌う嫁入り道中 (エ)言伝えを嫌い地域の人々は、この橋を渡らない。

◇(平安時代編)最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻東、一条戻り橋たもとに位置する(9)は我が国の陰陽道の祖(10)公を御祭神としてお祀りし星型の五芒星の紋を神紋とされている。秀吉時代この地で自刃した千宗易(利休)邸があった。加えて(9)は金メダリスト羽生結弦の演技に映画「陰陽師」のサウンドトラックが使用され近年パワースポットとして若者等に人気を集めている。

(9) (ア)玄武神社 (イ)建勲神社 (ウ)水火天満宮 (エ)晴明神社

(10) (ア)安倍晴明 (イ)惟喬親王 (ウ)蘆屋道満 (エ)菅原道真

千両ヶ辻西北、糸屋八町域内の桜井町(知恵光院通り今出川上ル西側)にお宮がある。平安時代末期この地に(11)の屋敷があったとも伝承されている。源九朗判官義経(牛若丸)が、奥州藤原氏を頼り平泉に赴くに際し、道中の安全をこの地の(12)に祈願して出立したと云われている。(11) (ア)藤原秀衡 (イ)金売吉次 (ウ)武蔵坊弁慶 (エ)桜井基佐

(12) (ア)三宅八幡宮の末社 (イ)首途八幡宮 (ウ)石清水八幡宮の末社 (エ)還来神社

◇(室町時代編) 西陣の起源について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

今年京の都を焦土と化した**応仁の乱勃発550年**。東西軍が入り乱れて戦い両陣営とも地方から続々と兵力を上洛させた。西軍の陣地は現在の堀川通五辻西入ル(13)邸跡辺りで「**西陣**」と云う地名の起源である。(14)という名称は、西軍の本陣跡が由来である。細川勝元を大将とする東軍は小川より相国寺に掛けての地域を「**東陣**」とした。

- (13) (ア) 山名宗全 (イ) 畠山義就 (ウ) 六角高頼 (エ) 斯波義廉
(14) (ア) 博多織 (イ) 桐生織 (ウ) 西陣織 (エ) 丹後ちりめん

◇(安土桃山時代編) 最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻の東北(今出川通堀川東入ル飛鳥井町・公家・飛鳥井家の跡地)に崇徳上皇を祭神とする(15)がある。飛鳥井家は伝統の蹴鞠の宗家であり洛中洛外図屏風。上杉本にもそれが描かれ「**大河ドラマ直虎**」にも宗家より手ほどきを受けた今川氏真の蹴鞠のシーンが見られる。お社には蹴鞠の神である精大明神が祀られ、スポーツ関係(16)の守護神とされている。スポーツ界より崇敬を集めている。(15) (ア) 晴明神社 (イ) 白峯神宮 (ウ) 建勲神社 (エ) 上御霊神社 (16) (ア) 剣道 (イ) 弓道 (ウ) 柔術 (エ) サッカー等、球技全般

千両ヶ辻の東方の元誓願寺通ドンツキ辺りに絵師・狩野派の屋敷があった。織田信長は(17)に贈るために洛中洛外図屏風(六曲一双屏風)の注文に何度も訪れたと伝承されている。

- (17) (ア) 武田信玄 (イ) 上杉謙信 (ウ) 北条早雲 (エ) 今川義元

千両ヶ辻と呼ばれ始められた時代の約200余年前、千両ヶ辻の(18)方向に「**大河ドラマ真田丸**」の舞台ともなった(19)が存在した。関白太政大臣の位についた(20)が造営し、五層の天守を持った城は「**聚楽城**」とも呼ばれ天正15年(1587)に完成した。その後(19)を都の中心に惣構(城郭)として(21)を完成させた。天正16年(1588)秀吉は甥の(22)を関白に就任させ、その城を譲ったが、謀反の廉で文禄4年(1595)(22)を自刃に追いやると(19)もことごとく破却した。平成28年京大防災研究所による画期的な聚楽第城跡の地盤。表面波探査が行われ未発見の外堀等輪郭が新たに判明し、千両ヶ辻域には外堀が存在した模様である。(18) (ア) 南 (イ) 南西 (ウ) 西 (エ) 南東

- (19) (ア) 二条城 (イ) 聚楽第 (ウ) 花の御所 (エ) 公家屋敷
(20) (ア) 豊臣秀吉 (イ) 豊臣秀長 (ウ) 徳川家康 (エ) 足利義昭
(21) (ア) 御土居 (イ) 高瀬川の開削 (ウ) 公認の茶店、上七軒の確立
(22) (ア) 豊臣秀頼 (イ) 小早川秀秋 (ウ) 豊臣秀勝 (エ) 豊臣秀次

天正18年(1590)頃京都にとって後世に残る大画期となった時期であった。豊臣秀吉による都市改造は**寺まち**【特に寺町通りや千両ヶ辻の北の方に位置する東西の通りである(23)】の新設、千両ヶ辻近くにおいても南北の通り(24)(晴明神社の前の通り)、**黒門通**が新設された。町家の移転、武家町建設が行われ(25)別名惣構の完成なども加わり応仁の乱後の荒野が残る洛中を聚楽第城下町(洛中惣構)として基本的な都市改造が完成し現在の京都の街の礎となった。(23)

- (ア) 七本松通り (今出川通りより南) (イ) 相合図子通り(下の森通り)
(ウ) 寺之内通り (エ) 出水通り(千本通りより西)
(24) (ア) 大宮通り (イ) 猪熊通り (ウ) 葎屋町通り (エ) 堀川通り
(25) (ア) 御土居 (イ) 高瀬川の開削 (ウ) 公認の茶店、上七軒の確立

千両ヶ辻近くに位置した聚楽第の堀を囲む一帯には諸侯諸大名等の屋敷が立ち並び現在でも多くの町名に名残りを留め、名前の一部に關係事項を町名としている。一条通大宮東入ルの如水町には(26)、東堀川通一条下ルの主計町には後年熊本城主となった(27)、上長者町通裏門西入ル高台院町は豊臣秀吉の正室の(28)、千両ヶ辻の真南側の柴町(旧阿波殿町)には修理大夫阿波守・蜂須賀正勝の屋敷があったと微かに伝承されている。

- (26) (ア) 《築城の名手》藤堂高虎 (イ) 《軍師》黒田官兵衛・孝高
(ウ) 《豊臣政権五奉行》浅野長政 (エ) 《豊臣政権五奉行. 京都所司代》前田玄以
(27) (ア) 《主計頭》加藤清正 (イ) 《甲斐守》黒田長政
(ウ) 《撰津守(キシタン大名)》小西行長 (エ) 《従三位権中納言(独眼竜)》伊達政宗
(28) (ア) 茶々(淀殿) (イ) お江(崇源院) (ウ) おね(北政所) (エ) まつ(芳春院)

◇ 幕末時代について最も適当なものを (ア) ~ (キ) から選びなさい。

平成17年(2017)は大政奉還150年に当たり、江戸幕府が政権を朝廷へ返上した最後の徳川将軍は (29) である。それより3年前、風雲急を告げる元治元年(1864)禁門の変が勃発。嵯峨・天竜寺を陣地とする来島又兵衛等の長州軍は千両ヶ辻の南方面を進軍し京都御所の中立売御門付近で会津・薩摩・幕府連合軍と最初に激突したと云われ、その戦いは別名 (30) と云われている。これに拠る大火は (31) と呼ばれていた。火の手は堀川で止まり千両ヶ辻は被害を免れた。

- (29) (ア) 綱吉 (イ) 吉宗 (ウ) 家茂 (エ) 慶喜
(30) (ア) 桜田門外の変 (イ) 蛤御門の変 (ウ) 戊辰戦争 (エ) 西南の役
(31) (ア) どんぐり焼け (イ) 西陣焼け (ウ) どんどん焼け(鉄砲焼け) (エ) 油小路焼け

千両ヶ辻の南西1kmの地点に会津藩士の重臣を兄に持つ与頭(くみがしら)佐々木只三郎以下6名で組織する京都守護職配下の京都見廻組いわゆる (32) の極秘精鋭部隊が投宿先(隠れ家)とする松林寺(新出水通智恵光院西入ル)がある。慶応3年(1867)11月15日隊は四条通河原町上ルの近江屋に潜んでいた (33) (34) の捕縛を断念し斬殺したと云う。彼らはその時代京都の警護を担い鳥羽伏見の戦い以降「朝敵」の汚名を背負い会津戦争へと突入して行った。(京都見廻組実行説に依拠)

- (32) (ア) 新撰組 (イ) 公儀隠密 (ウ) 幕府の軍事組織 (エ) 幕府の警察組織
(33) (34) (ア) 武市半平太 (イ) 坂本龍馬 (ウ) 岡田以蔵 (エ) 板垣退助
(オ) 中岡慎太郎 (カ) 岩崎弥太郎 (キ) 後藤象二郎

◇ 大学について最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

千両ヶ辻近く東に位置し1875年創立の同志社大学がある。創立者 (35) の協力者として、山本覚馬は現在の同大学の今出川校地の敷地を譲り、同志社英学校の創立に大いに協力した。創立に協力した山本覚馬の妹で (35) の夫人 (36) は、女子塾・同志社女学校の開設、教育に尽力した。千両ヶ辻より東西半径2kmに位置する衣笠校地と旧広小路校地を有していた、立命館大学(前身は京都法制学校)は大阪の財閥である広岡浅子等の援助を受け1900年に創立。創立者中川小十郎、学祖は大正昭和の最後の元老であった (37) である。

- (35) (ア) 徳富蘇峰 (イ) 新島襄 (ウ) 榎村正直
(36) (ア) 津田梅子 (イ) 下田歌子 (ウ) 新島八重(山本八重) (エ) 大山捨松
(37) (ア) 松方正義 (イ) 西園寺公望 (ウ) 伊藤博文

◇ 西陣織について最も適当なものを (ア) ~ (オ) から選びなさい。

新政府設立後京都では東京への遷都がもたらした疲弊状況を打破するために、工業を中心的に勧奨するための中央政府の殖産興業政策の中、京都府には先駆的な勧業場が設けられ明治3年外国の情報に明るい (38) を京都府顧問に招聘した。近代的な産業振興の旗頭として西陣織にスポットが当てられ (39) という、理化学工業研究所を府は設立し大いに西陣の発展に寄与した。明治5年~14年に掛けて西陣の技術者の〔佐倉常七・井上伊兵衛・吉田忠七(新織法習得)〕〔伊達彌助・早川忠七(織物研究)、中村喜一郎(染法研究)〕〔近藤徳太郎(織物)・今西直次郎(製糸撚糸)・稲畑勝太郎(染色)〕、〔三田忠兵衛・高松長四郎(染色)〕は、新技術習得のため (40) へ留学及び視察に向けて派遣された。習得した新技術は後年西陣及び国内繊維産業発展に大いに寄与した。

- (38) (ア) 勝海舟 (イ) ジョン万次郎 (ウ) 横井小楠 (エ) 山本覚馬
(39) (ア) 理学校 (イ) 舎密局(せいみ局) (ウ) 開成所 (エ) 勧業館
(40) (ア) 米国 (イ) 西欧諸国 (ウ) 東欧諸国 (エ) 中国

西陣織産地は (41) を生産する産地である。(41) (ア) 繭(マユ) (イ) 生糸 (ウ)

白生地 (エ) 先染め織物 (オ) 後染め織物

現在帯地・着尺・ネクタイ・金襴・ショールマフラー・室内装飾織物が生産されている。

<参考> 白生地とは生成り糸で織った染色加工用の生地。先染め織物(帯地等)とは糸を染めてから織った織物。後染め織物は白生地を染めた織物(友禅染)。

◇ 芸術・文化(琳派)について最も適当なものを(ア)～(オ)から選びなさい。

千両ヶ辻から1km東北及び東に位置する茶道の三千家があり、武者小路通小川東入ルには武者小路千家(茶室官休庵)がある。今年電柱の地中化が完成した小川通寺之内上ルには表千家(茶室不審庵)、その北側には裏千家があり重要文化財の茶室(42)がある。現在の表千家家元は十四代千宗左(而妙斎)であり後嗣の(若宗匠)は宗員(猶有斎)である。

(42) (ア) 燕庵 (イ) 如庵 (ウ) 待庵 (エ) 密庵 (オ) 今日庵

(43) (44) 茶道と縁の深い京菓子、千両ヶ辻近く半径約1.0km以内に老舗の菓子司が歴史的に多く存在する。下記の中から域外のことを二つ選びなさい。[正答は四つあり。]

(ア) 塩芳軒 (イ) 亀末廣 (ウ) 笹屋伊織 (エ) 末富 (オ) 鶴屋吉信
(カ) 俵屋吉富 (キ) 亀屋則克 (ク) 千本玉寿軒 (ケ) 本家玉寿軒

◇ 千両ヶ辻界限について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

2016年は伊藤若冲生誕300年に当たり、生前墓は千両ヶ辻より東へ900m程にある応仁の乱の東陣城の東の端にあった(45)にある。

(45) (ア) 大徳寺 (イ) 大聖寺 (ウ) 妙顕寺 (エ) 相国寺

元禄時代の絵師で西陣織の図柄に後世影響を与えた呉服商「雁金屋」の倅(46)、弟の尾形乾山は琳派の担い手である。「雁金屋」は千両ヶ辻近くの智恵光院通中立売辺りに存在したと伝承され、(47)、本阿弥光悦、(46)、尾形乾山達が創造した琳派の瑞々しい美意識は、美術・工芸・建築・庭園から衣装・料理・菓子などの幅広い領域に深い影響を及ぼし、現代の様々なデザインにまでその精神と本質は脈々と受け継がれ、私たちはそれを今も享受している。

(46) (47) (ア) 俵屋宗達 (イ) 酒井抱一 (ウ) 鈴木其一 (エ) 尾形光琳

千両ヶ辻より東南方向、直線で約700mの距離に2015年NHK朝の連続TV小説「あさが来た」『ビックリポン』の主人公である広岡(三井)浅子の実家(三井出水家)が存在した。女傑である主人公は加島銀行、大同生命等を設立し大阪経済の発展に寄与し、日本女子大学創立に尽力。加えて立命館大学創立にも大いに援助し尽力した。現在その跡地の(48)は当時とほぼ同じ面積で使用されている。

(48) (ア) 京都府庁の庁舎 (イ) 京都ブライトンホテル (ウ) ルビノ堀川(ホテル)
(エ) NTT西日本西陣ビル

◇ ユネスコ世界文化遺産について最も適当なものを(ア)～(ク)から選びなさい。

2017年に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」が登録され、加えて無形文化遺産として京都の和食業界の力強い努力もあり「和食：日本人の伝統的食文化」が2013年登録された。千両ヶ辻界限に在る和食文化を追求する有名料亭を二つ選びなさい。(49) (50) [正答は四つあり。]

(ア) 京料理萬重 (イ) 木乃婦 (ウ) 京料理魚新 (エ) 美濃吉
(オ) 天喜 (カ) 菊乃井 (キ) 萬亀楼 (ク) 瓢亭